

<Japan Buy-out Deal Conference in 水戸>

企業価値向上シンポジウム**～事業再編、事業承継、経営革新における戦略的視点～**

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、水戸にて、「企業価値向上シンポジウム」を開催することになりましたのでご案内させていただきます。企業競争力の強化のための戦略的視点が重要になってきている中で、茨城県を含む北関東地区と福島県の企業経営者の皆様には有益な情報をお伝えできればと思います。

近年、M&A (mergers & acquisitions) に加え、バイアウトの手法が企業価値向上のための選択肢として認識されつつあります。また、地方企業が経営基盤の強化や生産性の向上を目指して M&A やバイアウトの取り組みを行うケースが増えており、多数の事例が出てきています。この十数年の間に、関東地区を含む東日本地域においても、製造業（自動車部品、一般機械、電子部品、精密金型、電気機器、工具、非鉄金属、化学、食品、農水産物加工、医薬品など）、小売・卸売業（食品スーパー、アパレルショップ、専門店、専門商社など）、サービス業（外食チェーン、教育サービス、医療・福祉・介護サービス、法人向けビジネス・サービスなど）、運輸・物流、建設・不動産など多様な業種で事例が登場しました。具体的には、日本企業の事業再編・子会社独立にバイアウトの手法が活用された事例、中堅・中小のオーナー企業の事業承継にバイアウトの手法が活用された事例、多様なネットワークを活用して海外事業を強化した事例、再生企業が資金調達を実施して抜本的な経営改革を行った事例、などが出てきています。本シンポジウムでは、バイアウトの手法と事例を分かりやすく解説します。

経営改革を行いさらなる成長・発展を目指す企業の経営者、後継者問題を抱える中堅・中小のオーナー企業の経営者、戦略的 M&A や事業再編を検討している企業の経営者、アジアを中心とする海外に拠点を有する企業の経営者などの方々にお薦めです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【日時】

2019年3月5日（火）13:10～17:20（12:40 受付開始）

【会場】

水戸京成ホテル 2階「瑠璃の間」（茨城県水戸市三の丸 1-4-73）JR 常磐線水戸駅北口より徒歩 3分

【参加費】

1名 18,000円（税込）

【参加対象】

- 未上場オーナー企業の経営者、上場企業（子会社を含む）の経営者（経営企画担当、財務担当、社長室など）
- 地域金融機関（地方銀行、信用金庫など）、大手銀行、証券会社 ■ 弁護士、会計士、税理士などのプロフェッショナル

【お申し込み方法】

申込書での FAX 送信か Web サイト上（<http://www.jbo-research.com/>）で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

Lead sponsor**Co-sponsors**

日本みらいキャピタル株式会社



東京海上キャピタル株式会社

主催：株式会社日本バイアウト研究所

協力：株式会社みずほ銀行 株式会社中央経済社

URL: <http://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】 jbori@jbo-research.com（担当：杉浦）

プログラム

受付開始 (12:40)

基調講演 (13:10-13:50)

テーマ：日本企業の持続的成長のための戦略的視点
～再成長・事業再編・事業承継局面での M&A・バイアウトの活用と企業価値向上～
株式会社 KPMG FAS 執行役員パートナー 栗原隆氏

<概要>

人口の減少や高齢化の進行により国内市場が縮小し、日本企業を取り巻く経営環境が大きく変化する中で、従来の延長線上での対応だけでは生き残れない時代が到来している。目まぐるしく変化する経営環境にうまく適応し、持続的な成長を成し遂げるためには、自社の経営資源だけに頼った運営では限界がある。近年、大手メーカーが外部資本を活用した事業再編により子会社・事業部門を独立させるケースが出てきている。また、中堅・中小のオーナー企業の事業承継においても、外部の第三者に引き継がれるケースが増えてきている。このような局面で、M&A やバイアウトがどのように活用されているのかを、進める上でのポイントや留意点とともに概説する。

マーケット・レビュー (13:50-14:30)

テーマ：広域関東圏を中心とした日本のバイアウト案件の動向
～事業再編、事業承継、海外展開の事例を中心として～
株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

製造業（自動車部品、産業機械、電子部品、精密金型、プラスチック成形、プリント基板、電気機器、化学、繊維、資材、木製品、食品、農水産加工、日用品など）と小売・サービス業（外食チェーン、アパレルショップ、医療・介護サービス、教育サービス、その他）を中心としたバイアウト案件の動向について解説する。特に、大手企業の事業再編による子会社・事業部門の独立を伴う案件、オーナー企業の事業承継や資本再構築を伴う案件、アジアを中心とする海外事業の強化が実施された案件について、具体的な事例を交えて説明する。

休憩 (14:30-14:40)

事例紹介① (14:40-15:10)

テーマ：地域を支える製造業への支援アプローチ ～地域の人材を育成し、全国市場からの発想で事業を発展させる～
株式会社アドバンテッジパートナーズ パートナー 市川雄介氏

<概要>

アドバンテッジパートナーズは、優れた技術を有する産業財メーカー（自動車部品、産業機械、金属加工など）やブランド力を有する消費財メーカー（食品、水産物加工、日用品など）への豊富な支援実績を有する。特に、大手メーカーの子会社の独立や中堅・中小のオーナー企業の事業承継に伴う案件を手がけてきた。経営面では、生産性の向上、マーケティング戦略の見直しに基づく収益力の強化、全社員参加型の組織変革、戦略的提携・M&A などの推進を経営陣とともに取り組んできた。本プレゼンテーションでは、製造業への支援アプローチについて概説した上で、地域消費者に愛される銘菓・名産品メーカーの事例を紹介する。

事例紹介②インタビュー・セッション (15:10-15:50)

テーマ：地域密着型居酒屋チェーンの資本業務提携と企業価値向上に向けた取り組み ～ホリイフードサービスの事例～
ホリイフードサービス株式会社 代表取締役社長 飯田益弘氏
インテグラル株式会社 取締役パートナー（ホリイフードサービス株式会社 代表取締役会長）水谷謙作氏
聞き手：株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

茨城県水戸市に本社を置くホリイフードサービスは、「総合飲食企業として、働く者が誇りの持てる企業を目指す」という創業の精神に則り、主力店舗である「隠れ菴 忍家」を中心に多店舗展開を図ってきたが、激変する経営環境の中で、グループ内に飲食運営会社を有する TBI ホールディングとの資本業務提携を行った。そして、自主的な経営を維持しつつ、TBI ホールディングに経営参画しているインテグラルの支援も受けながら、企業価値向上に向けた施策を実行してきた。本セッションでは、資本業務提携に至った背景とシナジー創出に向けた取り組みについて解説する。

コーヒープレイク (15:50-16:05)

パネルディスカッション (16:05-17:20)

テーマ：製造業を中心とした日本企業の次なるステージへの飛躍に向けて ～バイアウトの手法を活用した企業価値向上戦略～
株式会社マーキュリアインベストメント 取締役 事業投資部長 小山潔人氏
アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 ディレクター 大宮伸巧氏
日本みらいキャピタル株式会社 パートナー 酒井香紀氏
司会者：アンテロープキャリアコンサルティング株式会社 取締役 山本恵亮氏

<概要>

激変する環境下において、人材不足、マーケティング・チャネルの拡大、グローバル化への対応、財務体質の強化などの経営課題を抱えている中堅・中小企業が多いが、M&A やバイアウトの手法はこれらの課題を解決する有力な手段となる。本セッションでは、製造業（産業財・消費財）および小売・サービス業を含む多様な業種の案件に参与しているプロフェッショナルに登壇頂いて、どのような経営課題を抱えている企業がバイアウトの対象になるのかについて紹介する。また、壮関（水産加工品・農産物加工品の製造）、日本アドバンスロール（鍛造ロールの設計・開発・製造）、ダイフレックス（建築・土木防水システムの開発・製造）、シンクス（木材加工機械・金属加工機械の製造）、APRESIA Systems（情報システム製品およびソフトウェアの開発・製造）、藤二誠（観光土産品の企画・製造・卸売）など、広域関東圏を中心とする多彩な事例を取り上げながら、バイアウトの手法を活用する際の留意点や企業価値向上に向けたキーポイントなどについての討論を行う。